

第16回ビバホールチェロコンクール

課題曲

一次予選

- A、Bよりそれぞれ1曲を選び、演奏すること。
どちらから演奏してもよいが、予選進行の都合により途中で止めることがある。
- A 下記のうち、いずれか1曲を選び、演奏すること。
- 1 J.S.バッハ：無伴奏チェロ組曲 第1番 長調 BWV1007 よりプレリュード
 - 2 J.S.バッハ：無伴奏チェロ組曲 第2番 短調 BWV1008 よりプレリュード
 - 3 J.S.バッハ：無伴奏チェロ組曲 第3番 長調 BWV1009 よりプレリュード
 - 4 J.S.バッハ：無伴奏チェロ組曲 第4番 変ホ長調 BWV1010 よりプレリュード
- B 下記のうち、いずれか1曲を選び、演奏すること。
- 5 C.P.E.バッハ：任意に選んだチェロ協奏曲の第1楽章
(イ短調Wq.170、変ロ長調Wq.171、イ長調Wq.172)
 - 6 L.ボッケリーニ：任意に選んだチェロ協奏曲の第1楽章
(変ホ長調G.474、イ長調G.475、ニ長調G.476、ハ長調G.477、ニ長調G.478、ニ長調G.479、ト長調G.480、ハ長調G.481、変ロ長調G.482、ニ長調G.483、ハ長調G.573)
 - 7 J.ハイドン：任意に選んだチェロ協奏曲の第1楽章
(ハ長調Hob.VIb-1、ニ長調Hob.VIb-2)
- 注：いずれもカデンツァは自由。
- 5については原典版 (The Packard Humanities Institute) に準ずること。
オイレンブルグ、ブライトコフ版も可。
 - 6については変ロ長調 (グリユツマツヒャー版) は不可。
 - 7についてはヘンレ版、またはショット版を使用すること。

二次予選

- A、Bよりそれぞれ1曲を選び、演奏すること。演奏順は自由とする。
- A 下記のうち、いずれか1曲を選び、演奏すること。
- 1 L.v.ベートーヴェン：チェロソナタ 第3番 長調 Op.69
第1楽章と終楽章
 - 2 F.シューベルト：アルペッジョーネ・ソナタ 短調 第1楽章と終楽章
 - 3 F.メンデルスゾーン：チェロソナタ 第1番 変ロ長調 Op.45
第1楽章と終楽章
 - 4 F.ショパン：チェロソナタ 短調 Op.65 第1楽章と終楽章
 - 5 J.ブラームス：チェロソナタ 第1番 短調 Op.38 第1楽章と終楽章
- 注：2の終楽章以外は繰り返しを省略すること。
- B 下記のうち、いずれか1曲を選び、演奏すること。
- 6 M.レーガー：3つの無伴奏チェロ組曲 Op.131cより
第1番 長調の第1楽章と終楽章
 - 7 M.レーガー：3つの無伴奏チェロ組曲 Op.131cより
第2番 短調の第1楽章と終楽章
 - 8 M.レーガー：3つの無伴奏チェロ組曲 Op.131cより第3番 短調の第3楽章
 - 9 P.ヒンデミット：無伴奏チェロソナタ Op.25-3 全曲
 - 10 Z.コダーイ：無伴奏チェロソナタ Op.8 第1楽章
 - 11 E.イザイ：無伴奏チェロソナタ 短調 Op.28 第1楽章と第2楽章
 - 12 G.クラム：無伴奏チェロソナタ 全曲
- 注：7の最終楽章と、12の第2楽章の繰り返しについては演奏者の自由とする。

本選

- 下記のうち、いずれか1曲を選び、演奏すること。
- 1 R.シューマン：チェロ協奏曲 短調 Op.129
 - 2 P.I.チャイコフスキー：ロココ風の主題による変奏曲 Op.33 (フィツェンハーゲン版による)
 - 3 A.ドヴォルザーク：チェロ協奏曲 短調 Op.104
 - 4 E.ラロ：チェロ協奏曲 短調
 - 5 E.エルガー：チェロ協奏曲 短調 Op.85

演奏上の注意事項

- 1 演奏は二次予選のAを除き、すべて暗譜で演奏すること。
- 2 課題曲のエディション (版) は、特に指示があるものを除き自由とする。

趣旨

本コンクールは、ビバホールの「MUSIC FARM」の理念を全国に広め、音楽文化の創造と発展、向上をめざし、多くの未知の才能ある若い演奏家たちが集い、広く世界に開かれたコンクールになることを願うとともに、将来性豊かな芸術を持ったチェロ奏者を発掘、育成することを目的として開催するものです。



養父市とビバホールチェロコンクール

養父市は、平成16年4月に兵庫県北部の八鹿町・養父町・大屋町・関宮町の4町が合併して誕生した人口21,100人余りの小さな市です。

市の東部を一級河川円山川が流れ、西部は、県下最高峰の氷ノ山をはじめ、山岳高原地域で、自然環境に恵まれ、春夏秋冬楽しむことができます。

肉用牛のトップブランドとして名を馳せている但馬牛の飼育が古くから盛んで、牛の神・農業の神を祀る養父神社、国指定文化財の名草神社など、歴史いっぱい、自然いっぱいのまちです。

養父市は、平成26年3月28日に、国家戦略特別区域諮問会議において、国家戦略特別区域に指定されました。高齢者の方々に活躍していただくとともに民間事業者との連携による農業の構造改革により、耕作放棄地の再生、農産物・食品の高付加価値化等の革新的農業を実践し、輸出も可能なモデルを構築すべく邁進しています。

ビバホールチェロコンクールは、合併前の旧養父町で平成6年に日本で初のチェロ単独コンクールとしてスタートし、第16回を迎えます。ビバホールは、市民ボランティアがホール運営を行っている、333席の小さなホールです。チェロコンクールもスタッフはすべてボランティアが携わる、全国的にもまれな運営となっています。ビバホールチェロコンクールに出場した多くの若手チェリストは、その後、各方面で活躍しています。今回出場されるチェリストもますます羽ばたいていかれるよう、祈念しております。

2025年

第16回 ビバホール チェロコンクール

募集要項



詳細WEBサイト

主催 養父市、養父市教育委員会
ビバホールチェロコンクール実行委員会

後援 兵庫県、NHK神戸放送局、サンテレビジョン
朝日新聞豊岡支局、神戸新聞社、毎日新聞豊岡支局
読売新聞豊岡支局、産経新聞社
一般財団法人日本チェロ協会



■開催期日

一次予選 2025年7月9日(水)・10日(木)
二次予選 2025年7月11日(金)
本選 2025年7月13日(日)

■会場

兵庫県養父市立ビバホール（兵庫県養父市広谷250番地）

■主催

養父市、養父市教育委員会
ビバホールチェロコンクール実行委員会

■後援

兵庫県、NHK神戸放送局、サンテレビジョン、朝日新聞豊岡支局
神戸新聞社、毎日新聞豊岡支局、読売新聞豊岡支局
産経新聞社、一般財団法人日本チェロ協会

■審査員（敬称略、五十音順）

審査員長／河野文昭
秋津智承 荻田雅治 菊地知也 斎藤建寛
松波恵子 宮田大 向山佳絵子
名誉顧問／堤剛

■表彰

- ①本選において第1位、第2位、第3位を得た入賞者には、下記の賞金と盾を贈る。
第1位…70万円 第2位…35万円 第3位…20万円
- ②本選において第4位、第5位、第6位を得た入賞者には、賞金10万円と盾を贈る。
- ③審査員会によって推挙された者には、下記の賞を贈る。
井上賞…賞状と賞金を贈る。
- ④聴衆者による投票によって選ばれた演奏者には、下記の賞を贈る。（本選出場者のみ）
聴衆賞…賞状と賞品を贈る。

■第1位受賞記念チェロリサイタル

2026年度に「第16回ビバホールチェロコンクール第1位受賞記念チェロリサイタル」を行う。

■審査

- ①2回の予選、本選は公開で行い（入場制限等は別に定める）、順位を決定し、表彰規定による賞を贈る。
- ②演奏順は主催者が決定する。
- ③伴奏はピアノに限る。
- ④予選審査にあたっては、時間制限により演奏を途中で止めることがある。

■発表

一次・二次予選通過者の氏名は、それぞれの予選終了後、会場において発表する。入賞者は本選終了後、表彰式会場において発表する。

■参加規定

【資格】

国籍を問わない。15歳以上35歳以下の者。ただし、2025年4月2日現在の満年齢とする。当コンクール第1位入賞者の再応募はできない。

【申込み方法】

右記QRコードの申込みフォームより必要事項を明記の上、出場者の写真(上半身・正面から撮影したカラー写真、700×1000ピクセル以上のもの)と、出生を証明する書類(学生証、免許証、パスポートなど)を添付し送信すること。

参加料は下記口座に振り込むこと。両方が確認できた時点で申込み受付完了とする。注)振込手数料は申込者の負担とする。

金融機関	但馬信用金庫広谷支店
口座番号	普通 0435570
フリガナ	ビバホールチェロコンクールジッコウイインカイ インチョウ オオバヤシケンイチ
口座名義	ビバホールチェロコンクール実行委員会 委員長 大林賢一

【参加料】

参加料は25,000円とし、申し込みと同時に納入すること。このほか、参加のための旅費、宿泊費等は全て参加者の負担とする。(申し込み後に辞退した場合、参加料は返金しない)

【申込期間】

2025年3月1日(土)から3月31日(月) 23:59まで。

申込に関する注意

予選並びに本選の演奏曲目は提出後曲目変更はできない。伴奏者を明記すること。伴奏者を途中でやむを得ない事情で変更するときは、直ちに事務局へ連絡すること。出身学校、在学名は正式名を記入すること。なお、記入事項に不備がある場合、申し込みを受け付けられないことがあるので注意すること。



申込用QRコード

【本選・予選に関する心得】

- ①出場者は事務局発行の参加受付証を持参し、所定の日に会場にて受付を済ませ、控室に入り係員の指示に従うこと。遅刻の場合棄権と見なすことがある。
なお、参加受付証は申し込み受付後に発行する。
- ②伴奏者は出場者自身が委嘱同伴すること。
- ③やむを得ず棄権することが決まった場合は、すみやかに事務局へ連絡すること。

【入賞者再応募規定】

これまで当コンクールに入賞した者（井上賞、聴衆賞は除く）が再び参加する場合には、一次予選を経ずに二次予選から審査を受けることができる。

【演奏に関する権利】

コンクールおよび第1位入賞者の受賞記念リサイタルにおけるあらゆる肖像権、著作権等すべての権利は、ビバホールチェロコンクール実行委員会に属する。

■出場者支援

本市は公共交通の便が悪いため、宿泊先とコンクール会場、コンクール会場と最寄り駅は指定の市内タクシー会社を利用し無料で送迎する。(養父市内、朝来市内のみ)

本選出場者に対し、伴奏者を含め往復の交通費（通常利用する国内公共交通機関相当分）を支給する。ただし、支給限度額は5万円とする。

＜申し込み・問い合わせ先＞

〒667-0101
兵庫県養父市広谷250番地（養父市立養父公民館内）
ビバホールチェロコンクール実行委員会事務局
TEL 079-664-1141 FAX 079-664-1363
URL <http://vivahall.sakura.ne.jp>
Email viva.cello.1994@gmail.com
申込フォームURL
<https://forms.gle/oUyoxwJ58BsxZYiq5>

【その他】 申込受付後は、メールでの連絡になります。
viva.cello.1994@gmail.com より受信できるよう設定をご確認ください。
新型コロナウイルス感染症ややむを得ない状況により、中止または延期する場合があります。その場合のみ参加料は返金します。
※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、ホームステイの受け付けはありません。